

中山間地域における地域自治組織の現状と課題

農林生産学科 講師

保永 展利

研究成果の概要

島根県の中山間地域では、人口の減少によって集落単独での自治活動が困難になる中で、複数の集落が連携して広域的自治を行う地域自治組織を設立する動きがあり、地域社会を維持するための試みとして注目されている。本研究は、島根県中山間地域における地域自主組織の活動形態と課題を明らかにすること、および、研究を通じて地域に貢献する人材を育成することを目的として行った。

研究にあたって、まず、飯南町旧赤来町上赤名地区の住民を対象として広域自治に関する講演会を開催した。その上で、飯南町旧赤来町の地域自治組織および雲南市の地域自主組織の一部を対象として、広域的自治に関する調査を行った。その結果、飯南町旧赤来町での地域自治組織活動の差異について、集落の寄り合い回数が多く、集落間での農業条件が比較的同質である組織の方が比較的積極的に広域自治に取り組んでいる一方、集落間で農業条件等に違いのある組織ではあまり積極的に広域自治に取り組んでいないことが明らかになった。また、それぞれの組織で優先的な課題が異なることも明らかになった。さらに、どの地域自治組織も補助金に依存している割合が高く、補助金の絶対額が広域自治活動に専従できる人材を雇用できるほど多くないことも明らかになった。これらの結果をとりまとめ、生物資源科学研究科地域活性化人材育成コースの竹村佑子氏とともに2015年9月に行われた地域活性学会で発表した。また地域に還元するため、飯南町において「飯南町の地域づくりを考える会」を2016年1月に開催した他、2016年1月に雲南市吉田町で開催した農村調査実習現地報告会においてゼミ生を中心とした研究報告を行った。

講演・学会発表等

1. 保永展利, 中山間地域における広域自治の展望, 飯南町上赤名自治振興協議会総会 (於: 飯南町 上赤名会館), 2015年5月31日.
2. 竹村佑子・保永展利, 中山間地域における地域自治組織の活動形態と課題, 地域活性学会第7回研究大会 (於: 兵庫県西宮市 大手前大学夙川キャンパス), 2015年9月6日.
3. 佐野翔平 (保永ゼミ生), 地域自主組織におけるリーダー群の存在と役割, 農村調査実習現地報告会 (於: 雲南市吉田町 民谷交流センター), 2016年1月30日.

セミナーの開催

1. 飯南町の地域づくりを考える会 (於: 飯南町 赤名農村環境改善センター), 2016年1月15日.
2. 吉田町観光まちづくり特別会議 (於: 雲南市吉田町 吉田交流センター), 2016年1月29日.



上赤名自治振興協議会での講演



飯南町の地域づくりを考える会

社会への貢献・その他

本研究によって、学生の地域貢献人材としての能力向上につながった。特に、竹村氏については地域おこし協力隊から飯南町役場への就職につながり、ゼミ生の佐野氏も兵庫県庁への就職につながった。地域住民側は若い学生の発表や提案から刺激を受け、意識の向上につながった他、今後、提案を踏まえた地域づくりの質的向上が期待される。また、大学生と地元住民の交流を進めていくことへの要望もあることから、今後は、大学と地方自治体、地域住民がいかに連携して交流活動を継続していくかが課題である。